

令和7年度 多摩市小学校長会

I 活動方針・重点事項等

多摩市が令和2年に気候非常事態宣言を表明して早5年。その間、令和5年度、令和6年度の夏季の暑さは非常ならぬ異常事態の様相を呈している。多摩市がE S Dを進めて15年。SDG sは採択から10年が経ち、時限目標の残りはあと5年。そのような不安が加速する世界で、不安を払拭し、希望をもって未来像を描くことのできる教育が必要であることは明白であり、急務でもある。

- ・これまでの経験則が成り立たない感染症の流行への対応
- ・タブレット端末の活用を含むI C T機器を活用した個別最適化の学びと裏腹にある家庭を含めた健康・発育阻害・ネットモラル・SNSトラブルへの配慮
- ・合理的配慮や特別支援教室入退級・特別支援学級転籍のための家庭や関係機関との迅速かつ円滑な連携や協力
- ・支援員やエデュケーションアシスタントの効果的な配置と連携・協力した支援
- ・教員の働き方改革と並行するやりがいのもてる教育活動
- ・教員の志望倍率低下に伴う学校の魅力の発信及び経験年数の浅い教員の計画的O J T
- ・本物を見せる校外学習の実施を断念せざるを得ないバス代金の高騰への対応
- ・夏季の気温上昇に対応した教育活動の工夫 等々

これらの多くの課題解決のため、多摩市公立小学校長会の17人は、日常的に有益な情報を共有し、協力して新しい時代の扉を叩いていきたい。また、それをもって本会の様々な活動を通し、教育管理職としての資質を高め、学校経営力のさらなる向上を目指していく。

【活動の基本方針】

校長としてのリーダーシップを発揮し、課題解決を図る「職能集団」として、全校が創意と活力のある学校経営を実現し、新しい教育活動を推進するために、情報の共有や研修に努める。

II 活動・取組

「活動の基本方針」を受け、今年度の「活動・研修の重点」を次の4点とし、校長会の活動・研修を通して、各校の校長が相互に切磋琢磨し、多摩市の子供たちのために高め合う会とする。

- (1) 「教職員の育成」や「教育課程の充実」等各校の課題解決に向けて情報の共有を図る。
- (2) テーマを定め継続的に研修に取り組む。
- (3) 多摩市教育委員会や多摩市公立中学校長会と連携し、学校教育の充実を図る。
- (4) 多摩市の特色である持続可能な開発のための教育・E S Dと特別支援教育の推進を図る。

1 経営研修

- (1) 小中合同経営研修（講演会：小中合同1回、小のみ1回）
- (2) 校長・A B選考研修会（小中別に開催）

2 テーマ別研修

- (1) 研修テーマ「創意と活力に満ちた教育の推進と学校経営」
サブテーマ「豊かな人間性を育む教育の推進について」R8 関ブロ研究発表を見据えて
- (2) 研修方法
全体会・分科会（小学校長連絡会時）、講師を招聘したロング研修会（夏季休業日）

III 地区の特色

新宿から電車で約30分の緑豊かな地域である。ペDESTリアンデッキが続く、多摩ニュータウンを抱え、少子高齢化に直面している一方で、駅周辺のマンションや宅地開発が進み、近年児童数が増加している学校もある。E S Dを推進し、毎年「多摩市子どもみらい会議」が開催される。